

## 部内就任奉告祭

陽気ぐらしをするのを見てともに楽しもうと思いつかれて この世をお創め下されてよりこの方 永の年限朝な夕な洽き御守護を下さる親神天理王命の御前に天理教△△分教会長 慎んで申し上げます

これの名称は昭和 年 月二十六日△△△△△を初代会長として その設立を御本部より御許可頂きましたが 今日この節に当たってその由緒沿革をしのび 静かに元一日の理を思い返してみたいと存じます

上級教会の親会長様は昭和 年三月 深い自己の悪因縁を悟り その商売を捨て子供二人を置き去りにして単身故郷より布教に飛び出されましたが その行く先がその妹に当たる初代夫婦の住むこの地であったのでございます 一見家庭崩壊に見える姉の道に常識的な見地から反対しつつも 飲まず喰わずの布教生活を見るに忍びて居りましたが 昭和〇〇年〇月次男の△△△△大人 続いて三年後長男△△△△大人を量らずも失い この頃から漸くお道を学び始め その後はひたすら信仰の上から上級に運びつくす道の子となり やがて名称の誕生となったのでございます

当時は二代会長△△△△△大人は専ら商売の道につとめ親しんで居りましたが 事業が伸びかかると肺病の床に伏し 為に仕事がかばかしくなく 経済が行き詰まってくると寝て居られなくなって事業をやり直すといったシーソーゲームを続けている中 身の不徳と将来を救い一条の道に捧げるべく去る昭和四十年 月二十六日謹んで任命のお運びを御本部より受けてのでございます かくて先づ上級のひのきしんを信仰の生き甲斐として老骨に鞭打ちつつ、一方には友人知己の身辺を訪ねてにいがけの道を学んで居りましたが 事既に遅く病重り昨年十一月二十三日ひのきしんに因縁深い勤労感謝の日 その身上をお返ししたのでございます

かくて届かぬ私ではございますが この教会の大節後 大教会長様が二代の御霊前に参拝される直前 上級会長様のお心を察し 御声に答えるべく三代会長に就任する固い決意を定めさせて頂いたのでございます 今は△△〇〇の二人の子の我が子も漸く成人し 生活苦のみに追い回されて意義の少なかった前半生をさんげし 後半生を親神様の御教へと教祖のおひながたによって飾るべく なってもならないでも精神一つで 一月二十六日おぢばに運び真柱様より三代会長の御任命を受けたのでございます

何卒この真実の心を充分にお受け取り下さいまして 今後一人々々のおたすけの実が挙がり 名称らしい名称へと理の栄えが一足々々御守護頂けま

すよう親神様のかわらぬ御恵みの程を幾重にも幾重にもお願い申し上げます